

## 2022年度（令和4年度） 事業報告書

計画件名	実施状況
<p>1. プロジェクト実施に必要なコンサルティングおよび支援活動</p>	<p>(1) 技術アドバイス、コーディネーター活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ JAIST 特任教授（産学官連携本部）として派遣（週1回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAIST 教員の研究支援</li> <li>・ ベンチャー支援（M-BIP 案件の企業等とのマッチング）</li> <li>・ 外部機関からの問合せ対応 他</li> </ul> </li> <li>■ コーディネーター（事業推進担当）としての活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種外部委員等への委嘱 <ul style="list-style-type: none"> <li>- JAIST イノベーションプラザ運営委員</li> <li>- JAIST ベンチャー・ビジネス研究課題選定・評価委員会委員</li> <li>- JAIST 超越バイオメディカルDX研究拠点 産学官連携推進会議産学連携推進委員</li> <li>- 金沢工業大学 DXリスク推進委員会委員</li> <li>- 金沢工業大学 金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム運営委員</li> <li>- 金沢医科大学研究推進センター非常勤講師</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 新型コロナウイルス検出キット販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当財団の支援を受け、令和3年度に大学発ベンチャー企業が国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の『開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業（令和3年度～令和5年度）』へ申請し採択された「現場使用可能な新型コロナウイルス変異株 RNA 検出システムの開発と開発途上国・新興国での性能評価」において、令和4年度の活動として4/1付で契約締結した。（契約額27,105千円）</li> <li>・ 令和4年度の活動は、インドにおいてCOVID-19検出キットRICCAの製造販売を行うための事業戦略立案、ユーザビリティ評価、インド政府機関への薬事承認申請および変異株検出を目的とした電気泳動装置の開発としており、これらのプロジェクト管理及び出口戦略へのアドバイス等の支援を実施した。</li> </ul> </li> </ul>

計画件名	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下の特許を取得・出願した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 検出キット RICCA について、11/14 付で国内特許を取得した。今後、インド、欧米等へ順次出願予定</li> <li>- 変異株を検出するための電気泳動装置について、12/7 付で日本航空電子工業株式会社と共同出願実施</li> </ul> </li> <li>・ 薬事承認について、インド医学研究会議所 (ICMR) へ打診したところ、RICCA で採用している唾液からの RNA 抽出には対応していないとの回答であったため、インドの日本大使館に協力を依頼し、交渉を継続中</li> </ul> <p>■ 能登珪藻土を活用した電気ピザ窯の開発及び販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当財団の支援を受け、令和 3 年度に七尾市の企業より申請、採択された『いしかわ中小企業支援ファンド事業(能登珪藻土を活用した電気式ピザ窯「Dogama K3」の開発及び販路開拓、事業期間は令和 3 年 9 月～令和 5 年 12 月、補助金額は 9,000 千円)』において、電気式熱源の開発を完了し、事業期限である令和 5 年 12 月までに電気用品安全法の許認可を取得することを目標に、耐久試験等を実施中</li> <li>・ 引き続き販路開拓が必要であることから、本年 6 月締切の令和 4 年度補正予算における経済産業省事業再構築補助金への申請を目指す意向であり、申請に向けて支援を継続する。</li> </ul> <p>■ 社史製作企業の AI 導入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当財団の支援を受け、令和 3 年度に富山県 IoT・AI 活用ステップアップ補助金を活用して開発した自動音声認識 AI (音声のテキスト化)、写真背景自動削除 AI に続き、令和 4 年度は原稿作成 (テキスト化したデータからキーワードを自動抽出し、キーワードの詳細を表示する) および作成した原稿の校正を支援する AI の開発・導入を計画した。</li> <li>・ AI 開発に必要な資金確保のため、令和 4 年度富山県中小企業ビヨンドコロナ補助金への申請 (総額 300 万円) を支援するも、一次募集、二次募集とも不採択となったが、企業が自己資金で開発を継続するため、大学との定期ミーティングに参加する等、支援を継続中</li> </ul>


計画件名	実施状況
<p>(2) 北陸3県のヘルスケア産業推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鋳物メーカーの販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来の主要分野である工作機械産業では、海外メーカーの参入により利益確保が難しくなったこと、半導体製造装置向け鋳鉄部品の需要が減少していることから、販路開拓に向けマッチング等により支援した結果、今後需要の上昇が見込まれる高速道路の鋳鉄床版をターゲット製品にすることとした。</li> <li>・ 鋳鉄床版の製造には、老朽化している電気炉の更新（5t⇒3t炉）が必要となり、資金確保のため経済産業省事業再構築補助金（総額150百万円、補助金80百万円）への申請を支援し、採択された。（令和4年6/9付）</li> <li>・ 工事発注他の諸手続きを進め、本年8/20に更新工事を完了予定、今後も鋳鉄床版の受注を確保するため、営業体制構築に向けて支援を継続する。</li> </ul> </li>   <li>■ 建築設計分野へのAI導入支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山市の電機設備販売企業において新規参入を目指す建築設計分野において、補助金を活用したAI開発を進めるため、大学の研究者とのマッチングを実施するとともに、経済産業省事業再構築補助金への申請を支援し、9月に採択通知を受領した（申請額は9,820千円、事業期間は令和5年10月まで）。</li> <li>・ AI開発に向けた定期ミーティングに同席し（2回/月）、事業期間内の開発完了に向けアイデアを提案する等の支援を実施中</li> </ul> </li>   <li>■ 石川県次世代ヘルスケア産業協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度総会の開催支援 開催日：6月30日 場 所：金沢勤労者プラザ（オンライン併用） 参加者：現地23名</li> <li>・ 令和4年度事業は、ヘルスケア・マーケティング専門家の西根英一氏を講師に、ヘルスケア事業創出に関する西根塾を7月～12月の間で全5回開催することとなり、「石川県版西根塾」の開催において、協議会事務局の一員として支援した。</li> </ul> </li> </ul>

計画件名	実施状況
<p>(3) 北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 北陸ヘルスケア産業推進連絡会               <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：3月7日</li> <li>場所：オンライン</li> <li>参加者：とやまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会、当財団 合計7名</li> <li>内容：                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各県の活動状況紹介</li> <li>・ バイデザインワークショップの開催（実績）</li> <li>・ フェムテックに関する研究会の設置（計画）</li> <li>・ 令和5年度新事業創出助成の公募予定</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 令和3年度における承認連携支援計画の実施状況報告書を提出（6月13日付）               <ul style="list-style-type: none"> <li>支援事業の実績件数 3件（計画件数 3件）</li> </ul> </li>   <li>■ 3県のIoT、AI相談窓口の情報交換会               <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：11月14日</li> <li>場所：富山県立大学 射水キャンパス</li> <li>参加者：3県自治体・関係機関、中部経産局北陸支局、北陸経済連合会、当財団 合計16名</li> <li>内容：                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)情報交換会                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各県のDX人材育成、導入補助金制度等紹介</li> <li>・ 各機関トピックス紹介</li> </ul> </li> <li>(2)富山県立大学DX教育研究センター見学</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>(4) デジタルシミュレーション人材育成(工作機械産業のDX支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「2022年度 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修」の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1回目)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：11月24日～25日</li> <li>場所：ITビジネスプラザ武蔵 研修室3</li> <li>講師：株式会社 CAE ソリューションズ</li> <li>参加者：8社12名</li> </ul> </li> <li>(2回目)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：12月5日～6日</li> <li>場所：ITビジネスプラザ武蔵 研修室2</li> <li>講師：サイバネットシステム株式会社</li> <li>参加者：8社12名</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

計画件名	実施状況
<p>(5) 国等の事業への支援 (共催、後援、協賛)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「工作機械におけるデジタルシミュレーション技術」研究会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：2月6日</li> <li>場所：ホテル金沢（オンライン併用）</li> <li>参加者：26名</li> <li>内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) デジタルシミュレーション研修受講報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目：高松機械工業株式会社</li> <li>2回目：コマツNTC株式会社</li> </ul> </li> <li>(2) 専門家講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師 中央大学工学部 教授 鈴木 教和 氏</li> <li>演題 「振動現象のシミュレーションと先進的な抑制対策」</li> </ul> </li> <li>(3) 意見交換</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 「国際ガラス展・金沢2022」への後援 <ul style="list-style-type: none"> <li>主催：国際ガラス展・金沢開催委員会(石川県・金沢市金沢商工会議所・石川県デザインセンター)</li> <li>&lt;金沢会場&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：10月13日～25日</li> <li>場所：しいのき迎賓館</li> </ul> </li> <li>&lt;能登島会場&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：11月12日～2月12日</li> <li>場所：石川県能登島ガラス美術館</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 「北陸地域ICTイノベーションセンター2022」への後援 <ul style="list-style-type: none"> <li>主催：総務省北陸総合通信局、北陸情報通信協議会、ICT研究開発機能連携推進会議</li> <li>開催日：11月2日</li> <li>場所：KKRホテル金沢</li> </ul> </li>   <li>■ 「Matching HUB Hokuriku」を共催 <ul style="list-style-type: none"> <li>主催：北陸先端科学技術大学院大学 未来創造イノベーション推進本部</li> <li>開催日：11月11日～12日</li> <li>場所：ANAクラウンプラザ金沢</li> </ul> </li> </ul>

計画件名	実施状況
	<p>■ 「石川健康長寿プロジェクト市民公開講座」への後援  主催：金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学  開催日：3月19日  場所：能登演劇堂</p>
2. 新事業創出助成	
	<p>■ 令和4年度公募</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/8 令和4年度新事業創出助成公募開始</li> <li>・ 5/13 公募〆切、申請件数：5件</li> <li>・ ~6/6 外部評価委員も含めた審査の結果、採択の2件を選定</li> <li>・ 6/29 申請者へ採択通知および不採択通知を発信</li> </ul> <p>(採択案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 網善商店「かぶら寿し乳酸菌を使用したお米ヨーグルト（麴甘酒ヨーグルト）と「腸活スイーツ」の開発、及び「D to C」プラットフォームの構築</li> <li>② 北酸株式会社「地域主導のカーボンネガティブを実現する、ロータリ式小型反応炉を用いた熱炭併給 事業開発」</li> </ul> <p>■ 令和3年度採択案件について、中間報告書および年度別請求書を受領（7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 株式会社ラピュタインターナショナル「眠っていた着物の帯でアップサイクルバッグを製作し、世界に発信、グローバル展開を目指す」</li> </ul> <p>(中間報告の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 様々な形状、サイズを検討し、帯バッグS、帯バッグL、サッシュベルトの3つのデザインに決定</li> </ul>



計画件名	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ブランディングのため、金沢を取り入れたタグデザインを決定</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>- 縫製会社を小松縫製に決定し、500 個／月の製造ラインを確保</li> <li>- マーケティングのためクラウドファンディングを実施（目標額達成済み）する等、製品のPRを開始</li> <li>- 米国でのネット販売、石川県と連携し東京ギフトショーへ出展予定</li> </ul> <p>② 公立小松大学「脳の運動制御能力の分析に基づいた『脳卒中患者の治療効果モニタリングシステム』の構築と北陸地域の回復期リハビリテーション病院への実装」 (中間報告の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- タブレット PC 上で動作する運動制御評価システムを構築</li> <li>- 12 名の被験者を対象に、上記システムの検証実験を実施し、従来の手首運動を用いた運動評価システム（特許取得）と比較して同等の結果が得られることを確認</li> <li>- 共同申請者である回復期リハビリテーション病院での臨床試験を前倒しで実施するとともに、遅延しているサーバー納入を待つて遠隔分析システムの構築を進める予定</li> </ul>
3. 国等の委託・補助事業	
(1) 内閣官房（厚生労働省、国土交通省）事業	<p>■ ウィズコロナ時代の実現に向けた主要技術の実証・導入に係わる事業企画 下水サーベイランス技術の開発</p> <p>事業概要：下水中のウイルス検査・監視により感染拡大防止につなげる下水サーベイランス技術の開発・実証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10/6 大学発ベンチャーを代表機関として、集団感染の早期発見と予防のため、高齢者施設などを対象として下水を監視する高感度新型コロナウイルス迅速簡便検査法の開発について申請し、採択通知を受領した。（契約</li> </ul>

計画件名	実施状況
<p>(2) 経済産業省関連事業 産学融合拠点創出事業 (産学融合先導モデル 拠点創出プログラム)</p>	<p>金額は 14,198 千円、事業期間は令和 5 年 3 月 20 日まで、参画機関は 3 大学、当財団)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/1 代表幹事機関および参画機関が連名でプレスリリースを実施</li> <li>・ 採取した下水からのウイルス検出において、有用な検証結果が得られたことから、3/20 三菱総合研究所ビル(東京)にて開催された成果報告会において、研究成果として「現場において 60 分で検出可能な下水中新型コロナウイルスモニタリング手法」の展示を実施</li> </ul> <p>■ 北陸RDX</p> <p>事業概要：北陸地域の産業基盤とDX・ESG投資の融合により地域産業の高度化と新産業創出を導く産学官融合のRDX (Regional Digital Transformation) 拠点を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/1 令和 4 年度補助金交付決定通知を受領 (補助金額：50,000 千円)</li> <li>・ 4/25 第 4 回HD x A総会</li> <li>・ 4/26 第 3 回ファイナンスラボ 内容：R4 年度推進計画 15 件の概要説明</li> <li>・ 6/28、7/5、6 第 4 回ファイナンスラボ (オンライン) 内容：R4 年度推進計画のうち 7 件の概要について事業者より説明、金融機関と意見交換を実施</li> <li>・ 9/15 事業者懇談会 目的：事業者のコミュニティ形成とネットワーク強化 内容：R3 推進計画における事例紹介、ゲスト講演 他</li> <li>・ 9 月～2 月 RDX人材育成プログラムを実施 (全 10 回) 内容：事業計画、知財活用、ファイナンス、法務、DX</li> <li>・ 10/20-21 北陸技術交流テクノフェアへ 2 ブース出展</li> <li>・ 10/24 中間報告会 (3 地区合同)</li> <li>・ 11/18 Matching HUB Hokuriku へ 11 ブース出展</li> <li>・ 11/29 第 5 回ファイナンスラボ 内容：R4 年度推進計画のうち、3 件について事業者より説明、金融機関と意見交換を実施</li> <li>・ 12/20 第 5 回HD x A総会</li> <li>・ 2/16 年度成果報告会 (3 地区合同)</li> </ul>



計画件名	実施状況
4. 普及啓発活動	
<p>(1) 技術シーズ（研究成果）の発表会等の開催</p> <p>(2) 講演会・セミナー等の開催</p>	<p>■ イノベーションシーズ講演会  開催日：11月18日  場所：ANAクラウンプラザ金沢（オンライン併用）  参加者：57名  内容：産業技術総合研究所の技術シーズ紹介  『ニッポンの屋台骨を支えるマルチマテリアル研究、最前線「部材のトータルパフォーマンス向上のためのマルチマテリアル化研究の紹介」』  講師：マルチマテリアル研究部門 研究部門長 堀田 裕司 氏</p> <p>■ 北陸産業活性化フォーラム  開催日：8月2日  場所：石川県立大学（オンライン併用）  参加者：41名  内容：  ・ 講演  ①「産学連携にあたり～知的財産権の取扱いが関連する契約を中心に～」  講師：県立広島大学准教授 川畑 哲郎 氏  ②「障害者による粗飼料生産での機械利用とヒツジ生産を支援する技術開発について」  講師：石川県立大学特任教授 石田 元彦 氏  ・ 施設見学  石川県立大学生物資源工学研究所、食品科学科 他</p> <p>■ バイオデザインワークショップ  開催日：1月17日～18日  場所：北国ビル4階会議室（オンライン併用）  参加者：15名  内容：以下の事項に関する講義と演習  － デザイン思考およびバイオデザインの概要  － ニーズ調査  － コンセプト選定  － プロトタイピング 他  講師：東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門</p>



